

## 6. 琵琶湖森林づくり県民税について（問31～34、報告書P115～126）

### 【結果概要】

#### ① 担当課

- ・琵琶湖環境部 森林政策課
- ・総務部 税政課

#### ② 調査目的

県民が森林に期待するはたらき、「琵琶湖森林づくり県民税」の認知度および用途についての調査を行うことにより、森林・木材に対する意識や要望を把握し、現在進めている「琵琶湖森林づくり基本計画」および「琵琶湖森林づくり県民税」の用途の見直しに活用する。また、平成 27 年 3 月に定めた「滋賀県水源森林地域保全条例」の認知度について把握する。

#### ③ 調査結果の分析・考察

- 森林に期待するはたらき（問 31、p. 115）では、「山崩れや洪水などの災害を防ぐはたらき」が 63.5%で最も多く、次いで「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化を防止するはたらき」が 58.1%となった。後者は平成 16 年度調査結果に比較して 8.0 ポイント減少しており、地球温暖化に対する社会の興味がやや薄れていることがうかがえる。
- 「琵琶湖森林づくり県民税」の認知度（問 32、p. 118）は 27.9%で、過去の調査結果（平成 18 年度 28.9%、平成 21 年度 28.6%、平成 25 年度 30.7%）と比較して大きな変化はみられない。
- 「琵琶湖森林づくり県民税」を知ったきっかけ（問 32 付問 1、p. 120）では、「県広報誌「滋賀プラスワン」」が 67.1%で最も多く、次いで「市町の広報誌」が 21.0%となった。他のきっかけに比べて、広報誌の果たす役割が大きい傾向にある。
- 「琵琶湖森林づくり県民税」の用途（問 33、p. 123）では、「荒廃している里山林を手入れし、地域住民等が森林に親しみ利用できる場所にするための活動」が 52.8%で最も多く、次いで「様々な樹種が入り混じった森林へ導くための整備や、手入れ不足の人工林に対する間伐の実施」が 44.4%となった。また、「税金を充てるのが望ましいと考えるような内容はない」は 2.0%となっており、全体としては、望ましい用途であれば県民税を充てることに否定的な意見は少ないといえる。
- 「滋賀県水源森林地域保全条例」の認知度（問 34、p. 126）では、「聞いたことがない」が 76.3%で最も多くなっており、条例の認知度はまだ高くはない。

#### ④ 今後の施策への反映

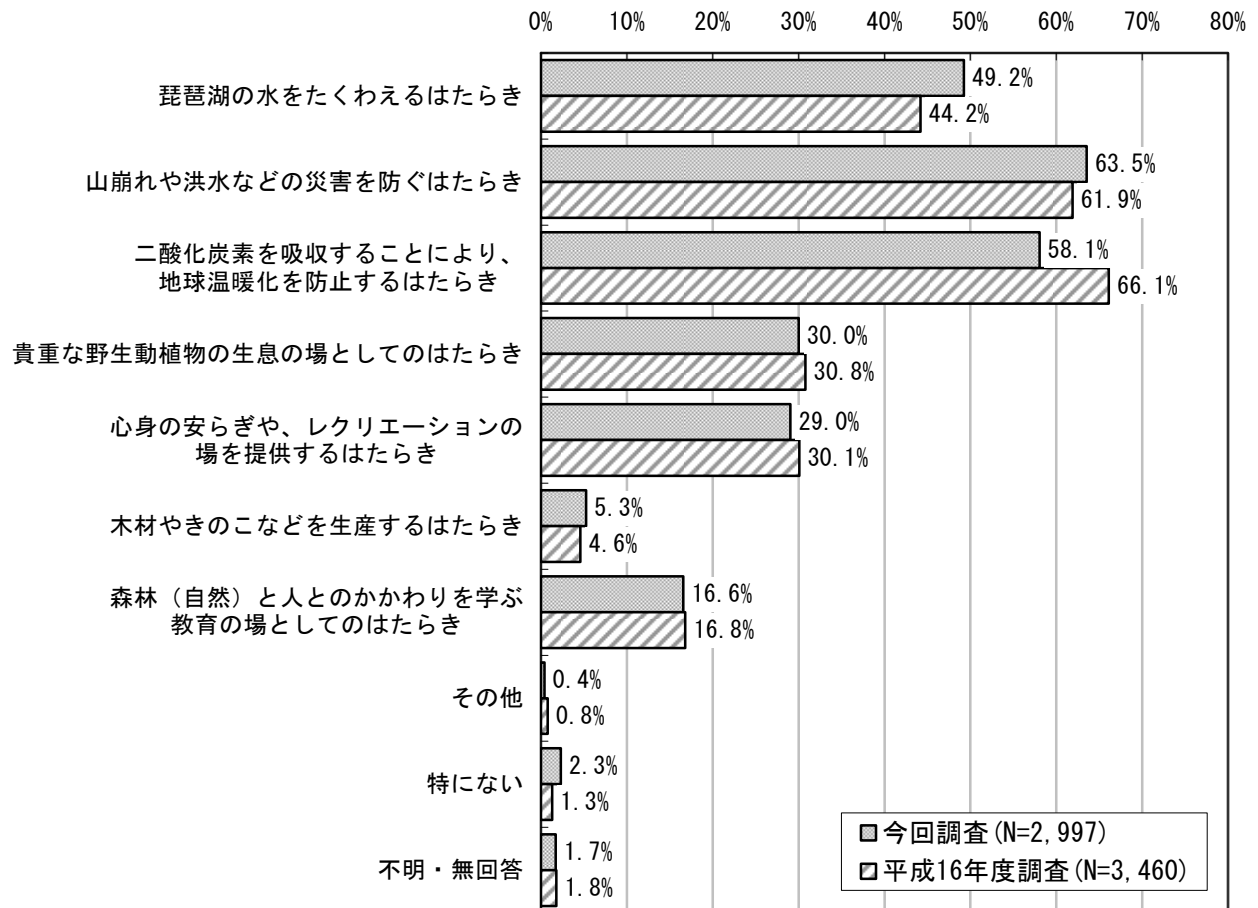
今回の調査結果から、森林づくり施策に関する県民の指向や課題を把握することができた。この調査結果を森林審議会で報告するとともに、「琵琶湖森林づくり基本計画」や「琵琶湖森林づくり県民税」の用途の見直しにあたっての参考資料として活用していく。また、「琵琶湖森林づくり県民税」や「滋賀県水源森林地域保全条例」の認知度の向上に向けて、今後いっそうの周知を図る。

## 【結果表・グラフ】

### (1) 森林に期待するはたらき

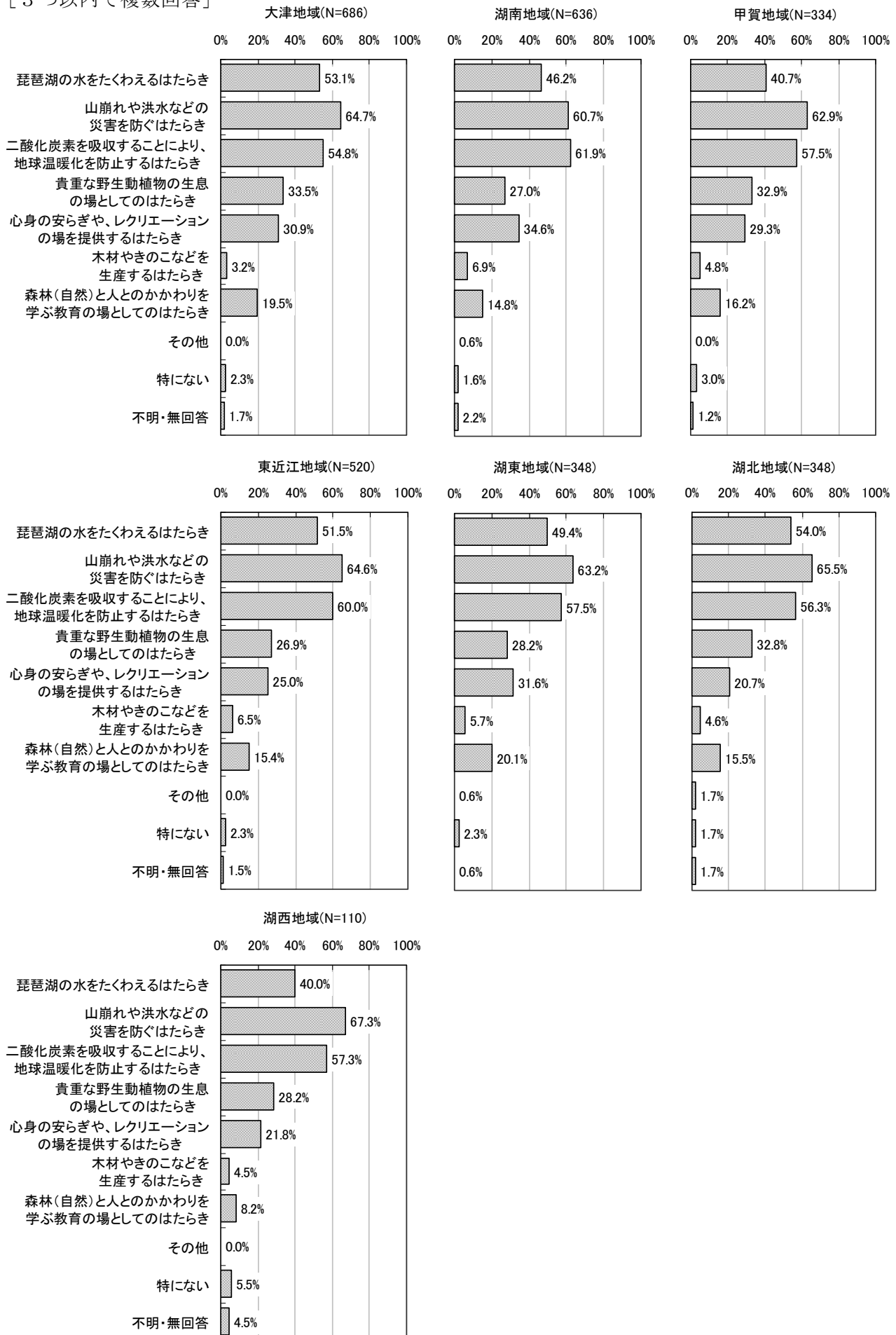
問 31 私たちの暮らしの中で、あなたが森林に期待するはたらきは何ですか。(〇は3つまで)

[3つ以内で複数回答]



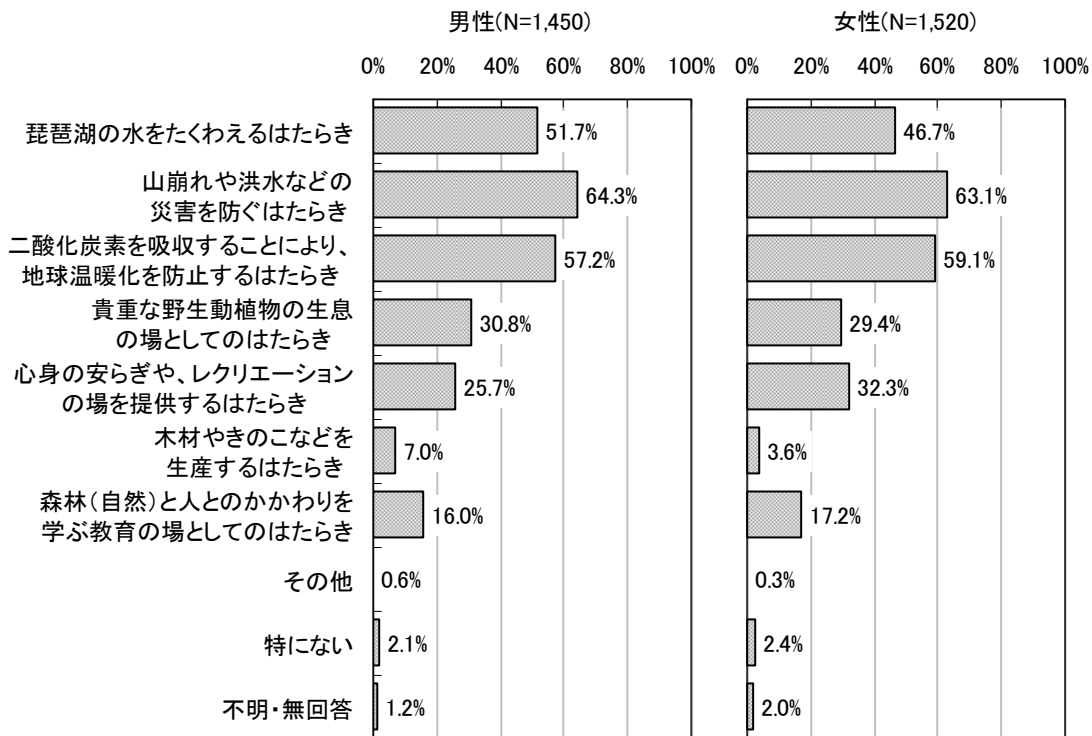
## 【地域別】

[ 3 つ以内で複数回答 ]



## 【性別】

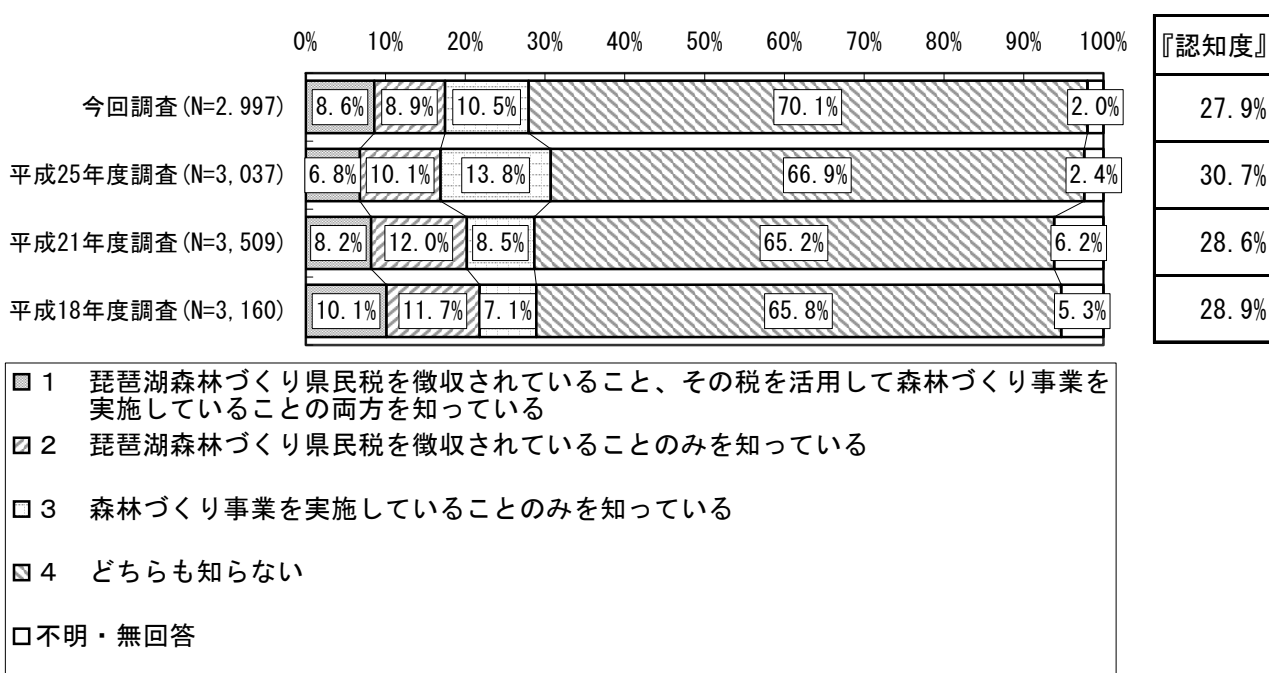
[ 3 つ以内で複数回答 ]



## (2)「琵琶湖森林づくり県民税」の認知度

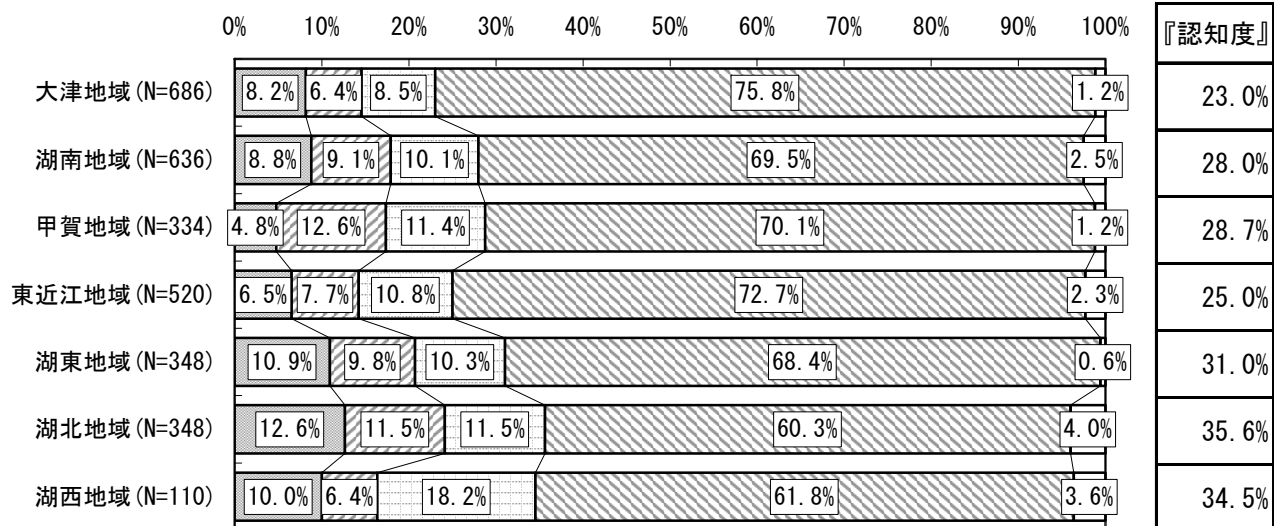
問 32 滋賀県では、平成18年度から、住民税に上乗せする形で県民の皆さまから「琵琶湖森林づくり県民税」をいただき、「環境重視」と「県民協働」の視点に立った森林づくり事業に取り組んでいます。このことについて、あなたは、どの程度ご存じですか。(○は1つだけ)

※『認知度』:「琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていること、その税を活用して森林づくり事業を実施していることの両方を知っている」と「琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていることのみを知っている」と「森林づくり事業を実施していることのみを知っている」の合計



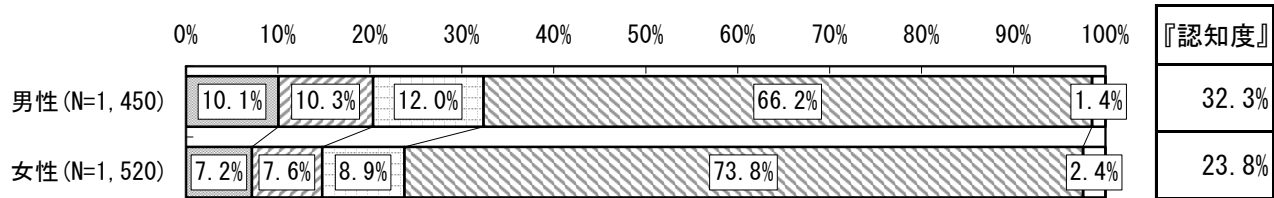
※平成18年度調査、平成21年度調査とは選択肢の文言が一部異なる

## 【地域別】



- ☐ 1 琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていること、その税を活用して森林づくり事業を実施していることの両方を知っている  
☐ 2 琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていることのみを知っている  
☐ 3 森林づくり事業を実施していることのみを知っている  
☐ 4 どちらも知らない  
☐ 不明・無回答

## 【性別】



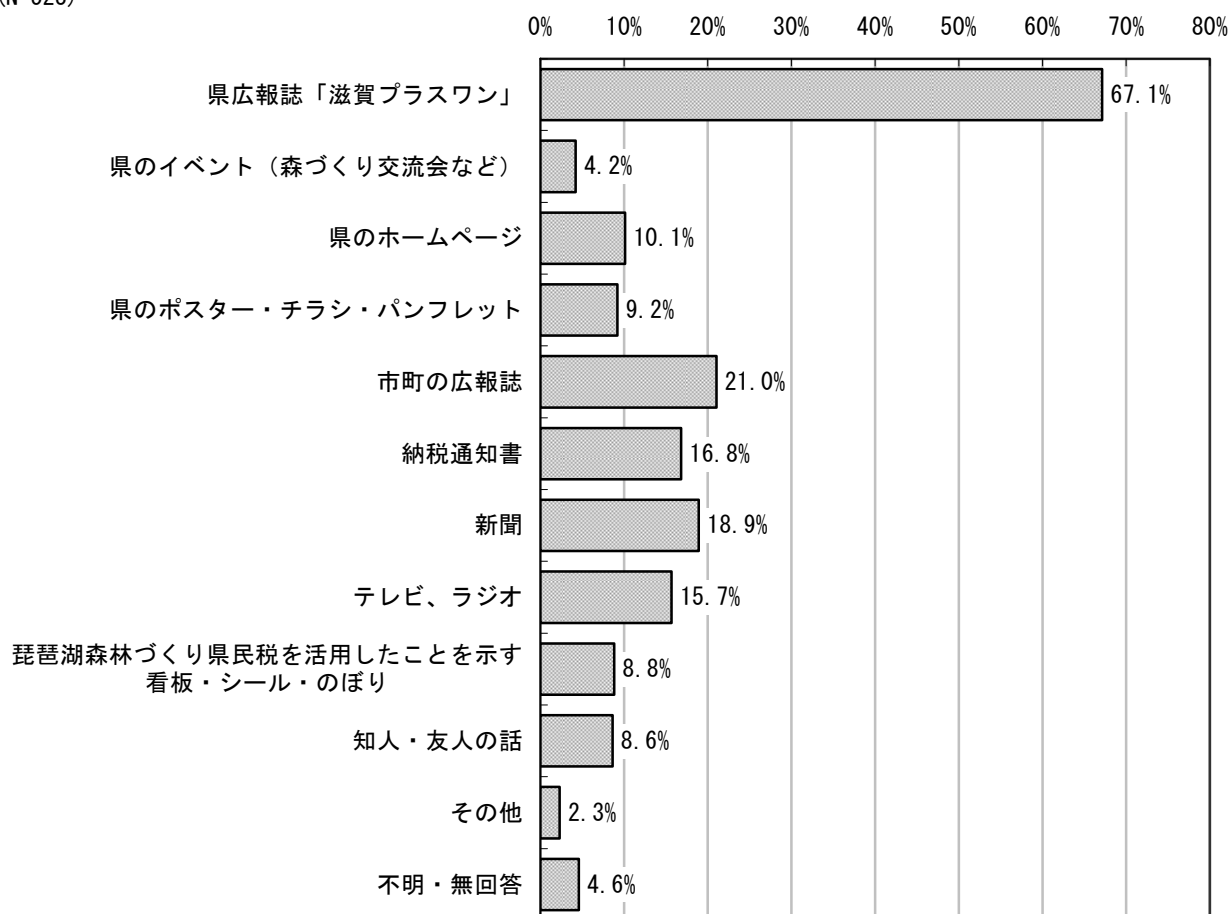
- ☐ 1 琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていること、その税を活用して森林づくり事業を実施していることの両方を知っている  
☐ 2 琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていることのみを知っている  
☐ 3 森林づくり事業を実施していることのみを知っている  
☐ 4 どちらも知らない

### (3)「琵琶湖森林づくり県民税」を知ったきっかけ

付問1 問32で「1 琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていること、その税を活用して森林づくり事業を実施していることの両方を知っている」「2 琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていることのみを知っている」と回答された方におたずねします。  
琵琶湖森林づくり県民税について、どのようにお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

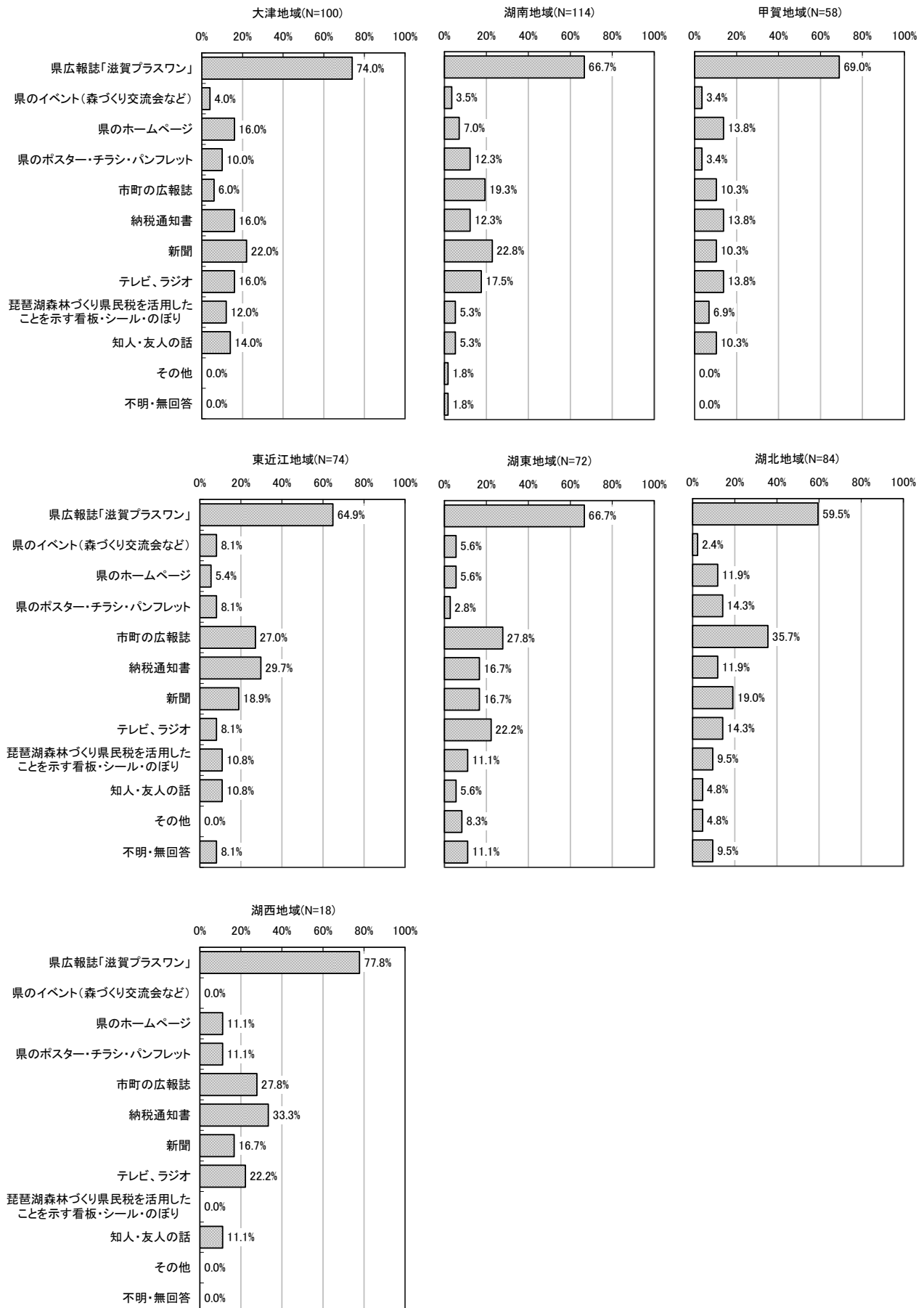
[複数回答]

(N=523)



## 【地域別】

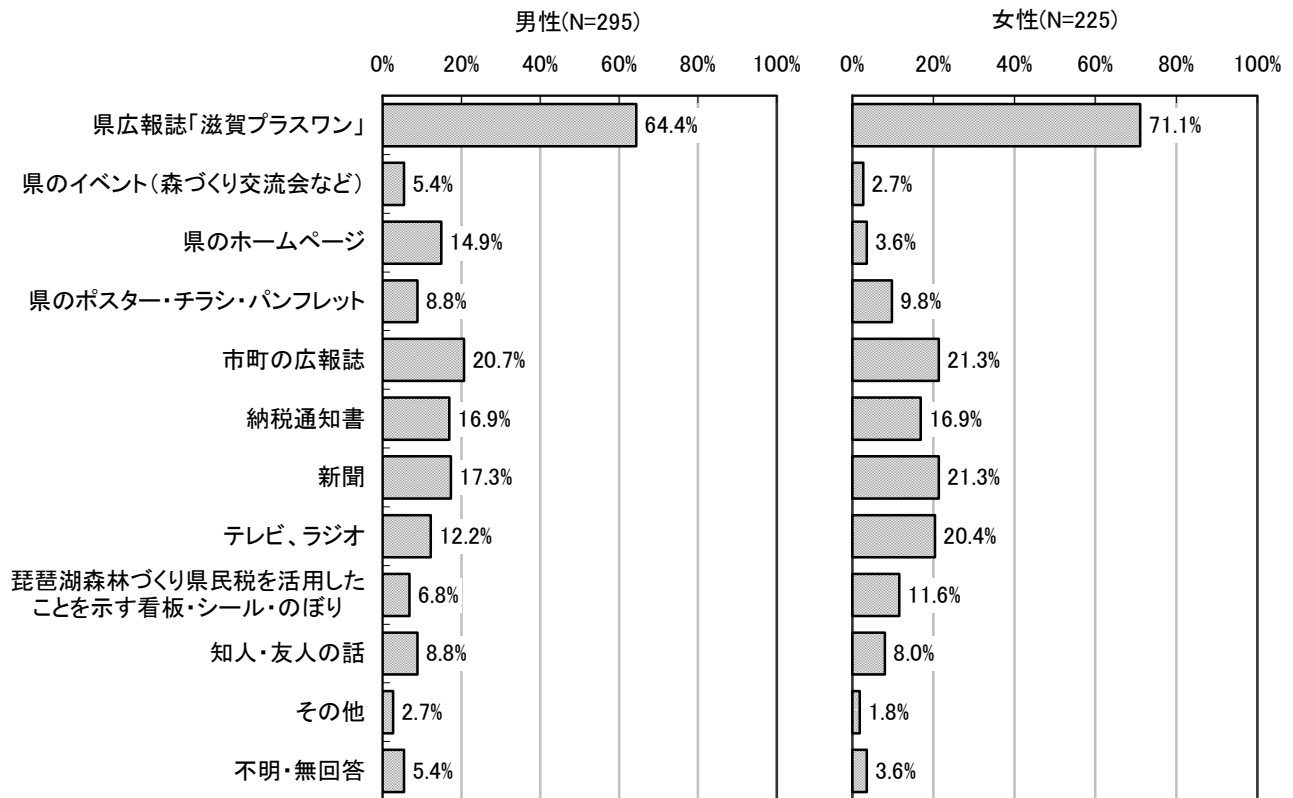
[複数回答]





【性別】

[複数回答]



#### (4)「琵琶湖森林づくり県民税」の使途

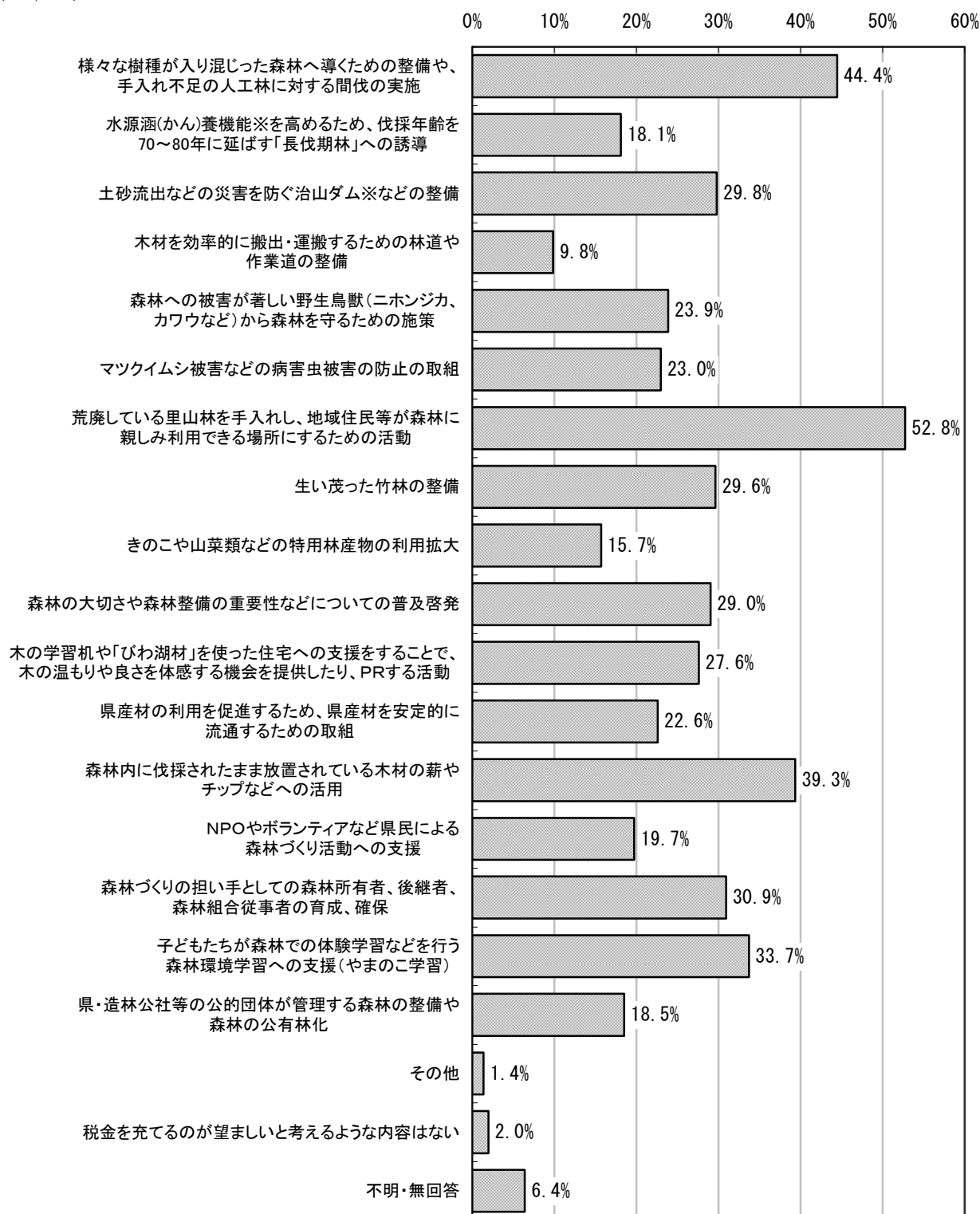
問 33 琵琶湖森林づくり県民税の使い道として、特にどのような森林づくりの分野に充てるのが望ましいとお考えですか。(〇はいくつでも)

※ 水源涵養機能…森林がスポンジのように雨水を吸収し、水質を浄化しながら、川への流量を安定化させる機能

※ 治山ダム…森林内の谷川の流れをゆるやかにして、一気に土砂が流れないようにする小規模のダム

[複数回答]

(N=2,997)



【地域別】

琵琶湖森林づくり県民税の用途 〔複数回答〕	今回調査	地域別															
		大津地域		湖南地域		甲賀地域		東近江地域		湖東地域		湖北地域		湖西地域			
		(N=2,997)		(N=686)		(N=636)		(N=334)		(N=520)		(N=348)		(N=348)		(N=110)	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
1 様々な樹種が入り混じった森林へ導くための整備や、手入れ不足の人工林に対する間伐の実施		44.4	2	47.8	2	46.5	2	44.3	2	37.7	3	44.3	2	42.5	2	48.2	2
2 水源涵(かん)養機能を高めるため、伐採年齢を70～80年に延ばす「長伐期林」への誘導		18.1	15	23.3	13	19.8	12	14.4	15	18.5	12	15.5	16	11.5	16	13.6	15
3 土砂流出などの災害を防ぐ治山ダムなどの整備		29.8	6	35.0	5	30.5	6	31.7	5	27.7	7	22.4	11	28.7	7	24.5	9
4 木材を効率的に搬出・運搬するための林道や作業道の整備		9.8	17	11.7	17	9.1	17	12.0	17	9.2	17	8.0	17	8.6	17	10.0	17
5 森林への被害が著しい野生鳥獣（ニホンジカ、カワウなど）から森林を守るための施策		23.9	10	24.2	12	19.8	12	25.1	10	22.3	10	25.9	9	28.7	7	26.4	6
6 マツクイムシ被害などの病虫害被害の防止の取組		23.0	11	24.8	11	21.7	11	22.8	12	25.0	9	22.4	11	19.5	11	20.9	12
7 荒廃している里山林を手入れし、地域住民等が森林に親しみ利用できる場所にするための活動		52.8	1	58.6	1	52.5	1	51.5	1	50.8	1	48.9	1	49.4	1	52.7	1
8 生い茂った竹林の整備		29.6	7	25.9	10	28.3	8	34.7	4	32.7	4	31.0	5	29.9	5	25.5	8
9 きのこと山菜類などの特用林産物の利用拡大		15.7	16	18.4	16	14.2	16	13.2	16	13.1	15	18.4	15	18.4	12	12.7	16
10 森林の大切さや森林整備の重要性などについての普及啓発		29.0	8	34.4	6	27.4	9	31.7	5	25.8	8	29.3	7	25.3	10	23.6	10
11 木の学習机や「びわ湖材」を使った住宅への支援をすることで、木の温もりや良さを体感する機会を提供したり、PRする活動		27.6	9	28.9	8	30.2	7	27.5	9	21.9	11	27.6	8	29.9	5	26.4	6
12 県産材の利用を促進するため、県産材を安定的に流通するための取組		22.6	12	27.4	9	22.6	10	22.8	12	18.1	13	24.1	10	17.8	13	22.7	11
13 森林内に伐採されたまま放置されている木材の薪やチップなどへの活用		39.3	3	39.9	3	38.4	3	38.3	3	38.5	2	44.3	2	37.9	3	38.2	3
14 NPOやボランティアなど県民による森林づくり活動への支援		19.7	13	21.9	14	19.2	14	21.6	14	17.7	14	21.3	13	16.7	14	18.2	14
15 森林づくりの担い手としての森林所有者、後継者、森林組合従事者の育成、確保		30.9	5	33.5	7	31.4	5	29.3	8	29.6	5	31.0	5	28.7	7	31.8	5
16 子どもたちが森林での体験学習などを行う森林環境学習への支援（やまのこ学習）		33.7	4	38.8	4	35.2	4	31.1	7	29.2	6	31.6	4	32.2	4	33.6	4
17 県・造林公社等の公的団体が管理する森林の整備や森林の公有林化		18.5	14	21.9	14	18.2	15	24.0	11	11.9	16	19.0	14	16.7	14	19.1	13
18 その他		1.4	19	0.9	19	1.3	19	2.4	18	1.9	18	1.1	19	0.6	19	1.8	19
19 税金を充てるのが望ましいと考えるような内容はない		2.0	18	1.2	18	2.8	18	1.2	19	1.2	19	1.7	18	4.0	18	2.7	18

※少数第2位以下の計算結果も考慮し順位をつけています。

【性別】

琵琶湖森林づくり県民税の用途 [複数回答]		今回調査		性別			
				男性		女性	
				(N=2, 997)		(N=1, 450)	
				%	順位	%	順位
1	様々な樹種が入り混じった森林へ導くための整備や、手入れ不足の人工林に対する間伐の実施	44.4	2	46.4	2	42.6	2
2	水源涵(かん)養機能を高めるため、伐採年齢を70～80年に延ばす「長伐期林」への誘導	18.1	15	18.9	15	17.3	14
3	土砂流出などの災害を防ぐ治山ダムなどの整備	29.8	6	30.6	6	28.9	8
4	木材を効率的に搬出・運搬するための林道や作業道の整備	9.8	17	12.3	17	7.7	17
5	森林への被害が著しい野生鳥獣（ニホンジカ、カワウなど）から森林を守るための施策	23.9	10	25.2	11	22.6	11
6	マツクイムシ被害などの病虫害被害の防止の取組	23.0	11	22.8	12	23.2	10
7	荒廃している里山林を手入れし、地域住民等が森林に親しみ利用できる場所にするための活動	52.8	1	53.8	1	51.9	1
8	生い茂った竹林の整備	29.6	7	27.9	8	31.3	5
9	きのこや山菜類などの特用林産物の利用拡大	15.7	16	14.6	16	16.7	15
10	森林の大切さや森林整備の重要性などについての普及啓発	29.0	8	31.0	5	27.0	9
11	木の学習机や「びわ湖材」を使った住宅への支援をすることで、木の温もりや良さを体感する機会を提供したり、PRする活動	27.6	9	25.8	9	29.4	7
12	県産材の利用を促進するため、県産材を安定的に流通するための取組	22.6	12	25.7	10	19.3	13
13	森林内に伐採されたまま放置されている木材の薪やチップなどへの活用	39.3	3	40.4	3	38.2	3
14	NPOやボランティアなど県民による森林づくり活動への支援	19.7	13	19.7	14	19.7	12
15	森林づくりの担い手としての森林所有者、後継者、森林組合従事者の育成、確保	30.9	5	32.2	4	29.7	6
16	子どもたちが森林での体験学習などを行う森林環境学習への支援（やまのこ学習）	33.7	4	30.2	7	37.1	4
17	県・造林公社等の公的団体が管理する森林の整備や森林の公有林化	18.5	14	21.2	13	15.8	16
18	その他	1.4	19	1.5	19	1.2	19
19	税金を充てるのが望ましいと考えるような内容はない	2.0	18	2.0	18	2.0	18

※少数第2位以下の計算結果も考慮し順位をつけています。